

報恩道語

発行：報恩山海徳寺
〒275-0016
習志野市津田沼5-3-3
電話：047-452-3094
FAX：047-489-5093
http://kaitokuji.net

或は火のごとく

信じる人もあり。

或いは水の如く

信じる人もあり。

聴聞する時はもへたつ（燃立）

ばかりをもへども、

とをざかりぬれば

すつる心にあり。

水のごとくと申すは

いつもたいせず信ずるなり。

日蓮聖人御遺文

『上野殿御返事』

水のような信心

（訳）（信心をすることについて）あるいは火のように信じる人もある。あるいは水のように信じる人もある。（火のようにというのは）説法を聞いた直後は火が燃えるような熱心さであるが、日がたつにつれ捨ててしまうようになる。（これに対し）水のように信じるというのは、いつも退転することなく信じるということである。

先日、大リーグのイチロー選手が、これまでピート・ローズが持っていた歴代最多安打を超えたというニュースが流れました。イチロー選手の有名な話として、毎日必ず決まったルーティンを行うことが知られています。試合前に行う動作は、他の選手が時計代わりに行っているというほど、毎日決まった時間に同じことを継続して行っています。

このエピソードを聞いていつも思うことが、イチロー選手は修行僧のような生活をしているなということ。毎年中山法華経寺で行われる百日間の荒行は、一日に七回、三時・六時・九時・十二時・十五時・十八時・二十三時と水行を行います。その際には寸分違わず水行が開始され、少しでも時間がずれると厳しく叱られます。なぜ時間厳守を重視するかといえば、決まったことを欠かさずに行うことが修行であるからです。荒行には行堂清規という規則が定められており、一日二回の粗食、二時間程度の睡眠ということが荒行の厳しさを端的表すものとしてよく取り上げられます。しかし、大変なことをすることが荒行ではなく、行堂清規に定められたことを肅々と規則正しく行うこと自体が、荒行という修行の根幹をなします。

日蓮聖人は、火のような一過性の信仰ではなく、いつも同じような信仰生活を送る「水のような信心」が大切であることをお説きになられております。毎日欠かさず仏壇に手を合わせる、線香を手向ける等は容易いことと思いがちです。しかし、それを毎日継続して行うことは、簡単そうに思えて実は難しいです。イチロー選手の最多安打の報道を見て、改めて「水のような信心」の大切さを感じました。

（海徳寺住職・加藤智章）